

鳥取市バリアフリーマスタープラン（素案）に係る
市民政策コメント実施結果

1. 実施期間

令和4年11月14日（月）～12月13日（火）

2. 募集結果

提出者数 2名 意見数 10件

3. 意見の内容及びそれに対する市の方針

No	市民政策コメントの内容	市民政策コメントに対する市の考え方
○バリアフリーマスタープラン全般について		
1	マスタープランについて、大変良い事だと考えますので、ぜひ早急に、確実に実施してください。	本マスタープランは、本市のバリアフリー化の基本的な方針を示すことにより、市民や事業者等と広く考え方を共有し、バリアフリー化を促進することを目的とするものです。 令和5年度からは、具体的な事業を位置付ける「鳥取市バリアフリー基本構想」の策定に取り組み、地域共生社会の実現に向けてバリアフリー化を着実に進めていきます。また、事業の進捗管理を行い、達成状況について公表を行う予定としています。
2	早急にマスタープランの実施をして欲しい。達成状況も随時更新してほしい。	
○道路について		
3	バリアフリー点検等を実施されているようですが、喫緊の問題として、次の区間の歩道を早急に改修されたい。 西中プール横のバス停付近から、鳥取駅に向かって鹿野街道交差点までの両側歩道が特に危険。 幅は狭く全体が車道側に傾斜しており、何箇所も凸凹の角度が急すぎて、手押し車・歩行・自転車走行時、実に危険である。 【私案】道路の車線幅を縮小し、歩道部分を拡げ、歩行者は勿論、自転車利用者の安心・安全な歩道へ改修する。	ご提案の区間については、歩道が車道より15cm程度高い、マウントアップ型の歩道となっています。幅員が狭いことにより、車の乗入部等の切下げにより路面が波打った状態となり、通行しづらくなっているものと考えます。 現在、ご提案の区間北側の市道大森通りにおいて、波打ちを軽減するために、車道を狭めて歩道幅員を拡げるとともに、車道を10cm程度高くする等の改良工事を令和6年度完了を目指して行っています。 ご提案の区間についても、引き続き整備を実施する予定です。

No	市民政策コメントの内容	市民政策コメントに対する市の考え方
○建築物について		
4	<p>段差の解消のために設置するエレベーターは、車いすでも届くところにボタンを設置してほしい。</p>	<p>多数の方が利用し、または主として高齢者等が利用する施設を対象として、「バリアフリー法施行令」では、移動等円滑化経路を構成するエレベーターについては、「籠内及び乗降ロビーには、車椅子使用者が利用しやすい位置に制御装置を設けること」と定められています。</p> <p>今後新たに設置されるエレベーターは、この基準に基づき設置されるよう指導していきます。</p>
5	<p>バギーや車いすの目線を考えた構造にして欲しい。例えば、公共施設での荷物置き場（コインロッカー）の高さ。高いと利用できないので、障がい者の目線に下げよう努力してほしい。</p>	<p>ご意見は、令和5年度より取り組む基本構想の策定作業において検討していきます。</p>
6	<p>バリアフリートイレに関して、大人でも横になれるベッドが欲しい。身体障害者のおむつ交換に困る。</p>	<p>「鳥取県福祉のまちづくり条例」では、建築物の用途や規模（別表参照）により、車いす使用者便房への大型ベッド等の設置が定められています。</p> <p>ご意見は、令和5年度より取り組む基本構想の策定作業において検討していきます。</p>
7	<p>自動ドアの速度が速いと、車いすで通るときに恐いし、驚いてしまうので、速度を緩めて欲しい。</p>	<p>9.バリアフリー化の促進に関する取り組み (5)建築物の出入口において、「車いす使用者等の通行を考慮した自動ドアの開放時間等の設定」を追記しました。</p> <p>高齢者、子ども連れ、車いす使用者等が安全に通行できるよう、自動ドア安全ガイドラインで推奨されている扉の開閉速度等の設定を行うよう施設管理者に求めています。</p>

No	市民政策コメントの内容	市民政策コメントに対する市の考え方
8	<p>一目でバリアフリーであることが分かるマーク（利用者が入り口で見て分かってよい）があるといい。</p>	<p>鳥取県福祉のまちづくり条例整備基準に適合する公共的施設については、その所有者等からの請求があれば、鳥取県により「福祉のまちづくり条例整備基準適合証」の交付が行われています。</p> <p>多くの施設所有者等から積極的に交付請求がされるよう制度の利用促進に向けた取り組みを検討していきます。</p> <p>なお、バリアフリー施設情報を掲載する「鳥取県バリアフリーマップ」の充実にも取り組んでいきます。</p>
○情報バリアフリーについて		
9	<p>公の文書の文字の大きさが小さすぎる。マスタープランの資料の文字の大きさも然り。当事者が読めるように書かれていない。</p>	<p>ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き（他都市参考、A4用紙の場合は12pt以上が基本）や本計画書のレイアウト等を考慮して、本文のフォントサイズを11ptから12ptに変更しました。</p> <p>また今後は、文字の大きさや色合い、音声によるガイダンスといったインターフェイスの充実にも取り組んでいきます。</p>
○その他		
10	<p>段差を感じさせない車いすの開発について、鳥取市もメーカーに要望出来ないか。検討をされてみてはと思う。</p>	<p>ご意見は、関係課等と共有し参考とさせていただきます。</p>

(別表) 車いす使用者用便房における大型ベッド等の設置基準

(鳥取県福祉のまちづくり条例 別表6 (第17条関係))

区 分	規 模
特別支援学校	全て
病院	全て
劇場、観覧場、映画館又は演芸場	床面積の合計 1,000 平方メートル以上
集会場又は公会堂	床面積の合計 1,000 平方メートル以上
百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗	床面積の合計 1,000 平方メートル以上
ホテル又は旅館(宿泊者以外の利用がある場合に限る。)	床面積の合計 1,000 平方メートル以上
保健所、税務署その他の不特定かつ多数の者が利用する官公署	全て
公共体育館等若しくはボーリング場又は遊技場	床面積の合計 1,000 平方メートル以上
博物館、美術館又は図書館	床面積の合計 1,000 平方メートル以上
ターミナル	全て
公衆便所	全て

(参考意見) 鳥取大学附属中学校3年生の社会科の授業より

No	内 容
1	バリアフリー化の中に障害者や高齢者のためのスロープなどの設置とあるがこのご時世感染症の心配などであまりそういうのを利用したがないと思いますが何か対策はあるのでしょうか。それに点字ブロックの設置もそれがあつてを知らずにまた知つていながらもその上を歩いてしまつてゐる人がいますし、鳥取駅の混雑したところではいくらバリアフリー化したとしてもそれらを使用できない状況に陥つてしまつてゐる可能性があります。どうでしょう。
2	凄く小さな改革のような事をせず、群馬県のように地域の魅力を最大に発信して、若者がきてくれるようにしてほしいです
3	学校の前のバス停では多くの人々が利用するのにバス停が小さかつたり、歩道の点字ブロックがかなり劣化してゐるので特にその点を改善するべきと考へます。また、交通量が多い道路に信号機や音声案内がない横断歩道が多くバリアフリーや安全の面で信号機などが無い横断歩道に信号機や音声案内の設置をするべきと考へます。
4	僕はバスを登下校時に利用してゐてバスを待つてゐる時に雨が降つてきたらビショビショになるので屋根などの待機場を設置すると書いてあつてとてもありがたいです。この取り組みがうまくいつたらより範囲を広げてバリアフリーに関する取り組みを行つて欲しいです。自分の家の周りは街灯が少なくて夜は事故の危険性があるのでできればいつか街灯を設置してほしいです。
5	鳥取大学前駅において、ホームのスロープの出口から JR の昇降口までの距離が遠くなることが多いです。そのため、足の悪い方や、車椅子の方がただでさえ移動が大変なのに、スロープを使うことでさらに移動距離が長くなつてしまつて、時間帯や、車両の編成数によっては、端から端まで移動するのと同じくらいになつてしまつてゐるのではないかと考へます。スロープを設置して段差を解消するだけでなく、スロープの設置する位置も含めバリアフリー化を促進し、全ての人にとって住みやすい町になつたらいいなと思つてゐます。
6	私はバスで通学してゐるのですが、バス停に貼つてある時刻表の位置が少し高く、車椅子で生活してゐる方が付き添いの人などがいない中で利用するときに時刻表を確認することが出来ず、困つてしまつてゐるのではないかと考へたことがあります。また、時刻表の字がもう少し大きいとより多くの人々が利用しやすくなるのではないかと考へます。
7	誰もが暮らしやすい町になるために、バリアフリー化は必要で、公共交通は誰でも利用できなくてはならないと思つてゐる。登下校でバスを利用してゐるが、バス停に屋根がないところが多いので、そこを直してほしい。バリアフリー化によって、全ての人々が人格と個性を尊重され、自由に社会で生活できるようなまちができたならいいと思つてゐる。
8	福部や佐治は移動等円滑促進地区に含まれてゐるのに、岩美町は含まれてゐないので、岩美町も範囲に入れた方がいいと思つてゐます。

No	内 容
9	誰もが住みやすい世の中にしていくことは良いことだと思います。私は、学校にバスで登校しています。バスを待つときに、屋根がないバス停で雨の中長時間待つと、濡れてしまい困ります。車椅子の方も傘をさすのが困難で困っていたのを見たことがあります。そのため、歩道の幅を広げるのと同時に、バス停の屋根の設置やスペースの確保をしてほしいなと思います。バリアフリーマスタープランを行っていくためには市民一人一人の協力が必要だと思うので、人に頼るだけではなく、自分にできることは何かあるのかを考えて行動したいです。
10	駅にエレベーターやスロープをつけると書いているが鳥取駅など人がたくさん利用するところしかない。
11	バリアフリー化はいいと思う。ただ体の不自由な人や子連れ、妊婦などがバスの料金を払うところで困っているのをたまに見るのでそういったところで ICOCA 等の IC カードがあればすぐに支払いができるし、都会でも IC カードのない田舎に比べ誰もがスムーズに乗り降りできているのを見かけるし大荷物を持った人や外国人もスムーズだったので、IC カードの導入は少なからずバリアフリー化につながるのではないかと私は思う。
12	鳥取市は通勤、通学、外出時の交通手段からわかる通り、圧倒的車社会なのでそこまで多くの駅周辺でバリアフリーを展開する必要はないと思いました。また、利用する駅の調査を見てもある駅にかなり利用者が集中しています。これは相当お金のかかることでもあるので必要最低限なものだけを各駅に設置してはどうでしょうか。例えば、利用者の少ない駅では多目的トイレを一つだけ設置する、エレベーターではなくスロープや手すりの設置など、無闇に設備を完璧に整えるのではなくその土地に合わせてするべきだと思います。
13	鳥取は誰でも使いやすいをモットーにバリアフリーに取り組んでいて、駅の使いやすさを考えていたが、それよりも汽車の本数を増やしたり、電車を作ったりした方がいいと思う。使いやすさ以前に JR の本数が少ないことがストレスや怪我に繋がってくると思う。だから、バリアフリーより JR の本数が大事だと思う
14	鳥取市にはエレベーターが未設置の建物や点字案内板やバリアフリートイレが整備されていないなどの現状があることを知りました。バリアフリー化の促進の取り組みとして道路や公園の設備の改良が必要だと思います。また、僕は通学などに不便を感じる事がないけど、高齢者や障がいを持った方々のためにも生活しやすい環境を作る事が大切だと思います。

No	内 容
15	<p>バリアフリーマスタープランを見て、公共交通機関や施設に様々なバリアフリー化が推進されていて、将来役に立っていくのだろうと思い感心しました。ノンステップバスやUD タクシーなども多く見かけるので、促進されている証拠だなと思いました。しかし、移動等円滑化促進地区の図を見ると、市内にはほぼ全ての施設が備わっているのに対して、佐治町などの過疎化が進んだ場所ではあまり見られないことから、鳥取市内のバリアフリー化には地域によって大きくばらつきがあるなど不安に思いました。そうすると、過疎地域から市内に移住する人が増えてしまい、より鳥取市の過疎化が進んでしまう、という悪循環が起きかねないと思います。だから、どの地域でも平等なバリアフリー化を促進させるべきだと僕は思います。</p>
16	<p>バス停に屋根やベンチを設置すると書いてあるが、街中などの設置できない環境の場合は、どうするのか疑問に思った。</p>
17	<p>駅やバスターミナルなどの交通機関や図書館などの教育施設では、このバリアフリーマスタープランにあるように様々な対策が行われているとわかりました。一方でヒアリング調査では、たくさんの意見が出ていてまだまだ改善しなければいけない点がたくさんあるのだと思いました。確かに私もバスを使っていますが、ただでさえバスは定時には来ないのでさらにバス停にベンチや屋根がなく困っておられるお年寄りの方を見たことが何度もあります。このあたりは、改善して行ってほしいと思います。また情報バリアフリーや心のバリアフリーなど施設だけではなく心の面でもバリアフリーを促進しているのは良いと思いました。</p>
18	<p>まあなんでもいいのでは 頑張ってください ただ、ノンステップバスをもっと増やしたり地下鉄をつくったり路面電車をつくっていただきたいものです</p>
19	<p>バリアフリー化をする事で、私達や高齢者の方、そして小さい子供たちなど様々な人たちが鳥取県により住みやすくなると思い、いいと思いました。また、これは要望なのですが、自転車を使用しているとき、道路の自転車専用道路に一部狭い場所があり、そこを通る際に車と接触しそうになって少し不安に思ってしまったたり、そこへ車が止まってしまい通れなくなってしまう、たまに歩行者用通路を使用するのですが、その時に高齢者の方や子供連れの方がいた時、危ないと感じるため、自転車専用道路の改善をお願いしたいです。</p>
20	<p>僕は宝木駅から通学していて下りの列車が 2 番ホームに止まるのですが跨線橋を渡る時にお年寄りの方々と学生が同じ時間帯になった時階段しかないためお年寄りの方々が学生の歩くスピードについていけないため危ないなど感じる事が多々あります。鳥取にも階段を歩くと急ぐ人はどちらかによるなどの対策がある方がいいと思いました。</p>

No	内 容
2 1	<p>僕は鳥取市に住んでいるのですが、鳥取駅周辺はまだお店などがたくさんあって良いのですが、1ヶ月ほど前に青谷町に行った時に本当に言っちゃ悪いですけど何にもなくて驚きました。(失望しました。) そのことから地図を見る限りでも青谷駅周辺、鹿野町、気高町、浜村駅周辺などをもっと活性化し、そのあとでバリアフリーのことを考えたら良いと思います。(階段をなくし全て上るところをスロープにしたり、もっともっと老人ホームを増やしたりすること) アプリについてはみんながよく見る YouTube などでも広告として広めたら、もっと利用が増えるのではないかと考えます。</p>
2 2	<p>通学する道、商店街などの道がガタガタで多少の歩きにくさを感じられます。バリアフリーマスタープランによって道などが多く整備されるようになれば、様々な方の暮らしやすさにつながると考えました。</p>
2 3	<p>鳥取駅のホームに階段と線路との幅がとても狭いところがありそこを広げて欲しいです。</p>
2 4	<p>鉄道というものが鳥取市の中心になっていることから、市民の多くの人が鉄道駅を利用する。鳥取駅や鳥取大学前駅などの主要駅では、バリアフリー化が進みつつある。このことから利用しやすくなり利用が増える。また、その他の山間部や人口の少ない地域で駅に十分な機能がない。ので利用者が減る。このように比較的都市的な場所と山間部での差がどんどん開いていき、過疎化の原因になっていると考えられる。このようなことについては、鉄道駅に限ったことではなくて、公共の施設やショッピングモールでもいえる。人口が減少する中で、このように都市部と山間部で差が開いていくという負の連鎖が続いている。バリアフリー化を進めるのは良いことだが、鳥取市が衰退していかないようにしないといけないと考えます。</p>
2 5	<p>布勢にある、山田スポーツパーク付近にある T 路地は、車や人の行き交いが激しいですが、歩道橋のみで信号がなく、道も狭いため、交通事故の恐れがあると、日頃から感じています。歩行者専用の道がありませんが、道路が狭く、非常に危険なので、道路を広くするか、歩行者専用の道を作ってほしいです。</p>
2 6	<p>出入り口に段差がある施設をよく見かけるし、点字ブロックがない歩道や、音が鳴らない歩行者用信号機もたくさんあるので、駅の近くなどだけでなく、もっといろいろなところにバリアフリーの設備をしたほうがいいと思います。また、バリアフリーの設備がちゃんとされている学校なども作ったら良いと思いました。</p>
2 7	<p>移動等円滑化促進地区の鳥取駅周辺が少し狭いと感じもう少し広げるべきだと思う。高齢者などのために鉄道の車両を増やすべきだと思う。現状、ほぼ毎日満員電車のような状態で高齢者や障害者にとって周りに人がたくさんいるのは大変ではないかと思う。UD タクシーの推進と書いてあるが私は全て UD タクシーにしてもいいのではないかと思う。鳥取駅のエスカレーターの段差が大きいので直すべきだと思う。</p>

No	内 容
28	鳥取市内を走行しているバスの内、ノンステップバスの割合は77%で全国平均の64%より高いので問題ないと思いました。JRでは改札内通路の視覚障害者誘導ブロックの整備が足りていないと思いました。また、自分が市内を歩いていて思うのが歩道と車道の間隔が狭く、自転車に乗っている人たちが危ないと思いました。
29	みんながより暮らしやすくなる対策で、とても良いと思った。自分がして欲しい対策は、自転車の通路の狭さです。自転車のルールとして、歩道ではなく歩道と道路の狭いところを通らなければならないというルールがありますが、少し危険だなと思います。だから、しているところもあると思いますが、歩道に線を引いて欲しいです。そうすれば、自転車の事故も歩行者の事故も減ると思います。鳥取市バリアフリーマスタープランは、みんなが安全安心になり生活しやすくなるなと思います。
30	鳥取県のバリアフリー化に向けて、ほぼ良いと思う。そのためにも、障害者のための設備をもっと充実させる必要があると思う。鳥取県の駅でも、点字ブロックがないところがあり、視覚障害者にとっては、危険だと思う。また、障害者だけでなく、健常者にとっても、整備の行き届いていない道路が数多くありカーブミラーの設置ももう少ししてほしい。
31	駅のトイレが男女用しかないので、障がい者なども使うことができるバリアフリーなトイレや、多目的トイレを設置すべきだと思う。また、駅で、車線をまたぐための空中歩道が階段と手すりしかなく、車椅子の方が利用できないと考えたのでエスカレーターのようなものを作り、車椅子の方や、歩くのが、不自由な人でも使うことができるようにすべきだと思う。
32	駅の改札が鳥取駅以外のところがまだバリアフリーに対応していないからそこをまず治した方がいいと思います。駅の利用者数を見ても数は少ないです。でも、目が見えない人や耳の聞こえない人に多く使ってもらうためには改札と切符買うところをバリアフリーに対応するように作ったらいいと思います。点字ブロックが途切れているところが多いのをよく見かけるのでそこも直した方が目の見えない人の事故の防止になると思います。トイレも鳥取駅のトイレは音声案内があるけどイオンなどのショッピングモールはまだ音声案内がないのでつけた方がいいと思います。
33	今回、心のバリアフリーについて読んでみた際、車椅子の人などしょうがいしゃの人の気持ちがわからないと言う部分がありました。確かに車椅子に乗っての生活はほとんどの人に関わりのないことです。なので心のバリアフリーについて考えてもらうため、実際の車椅子を利用した、本人自身が体験するようにしたら良いのではないかと考えました。また、心のバリアフリーとは関係ありませんが、今回、バリアフリー化の対象になっていた鳥取駅周辺ですが、10月ごろから、イチヨウの木より銀杏が落ちてきています。車椅子で通る人は見かけませんが、通る人がもしいる際、タイヤと接触し通行のさまたげになると考えられます。銀杏の対策も季節にはよりますが、必要だと感じます。